

# 儲かる花はこれだ！「ギガンチウム」

花き業界は、少子高齢化で生産者が減っており、『売花がない』といった現象がおきています。そこで、生産コストを削減して少しでも収益アップが期待できる花きについて、今回、花市場の担当者から勧められている「ギガンチウム」を紹介します。「ギガンチウム」は、そのインパクトのある見た目を活かすために、シンプルな飾り方がベストです。背の高い花瓶に一本だけ飾るのも素敵ですし、他の花と組み合わせてブーケに使われ、その大きな形状と美しさから花市場で人気が高まっています。

## 1. ギガンチウムの特徴

- 球根切り花のギガンチウムは非常に背が高く花茎が最大150cmに達します。花は人の頭の大きさ程あり直径が20cmに達します。花は花茎が真っ直ぐ伸び豪華なため切り花として高い人気があります。露地栽培が基本で暖地、寒地で栽培が可能です。
- 水揚げが良く、日持ちが約1~2週間と長いです。収穫したギガンチウムを水に漬けて水切りを行います。管理は必要に応じて数日(約1~3日)ごとに水換えと水切りを行きましょう。
- 1球1本切りで1本90cm~100cmで単価60円~100円前後。  
(2024.6月なにわ花いちば参考)



図-1 ギガンチウム

## 2. 作型及び育て方のコツと施肥例

### ○作型

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
暖地・寒地	○————○										定 植	
	—————					[ ]						
						収 穫						

### ○育て方のコツ

- ①水はけと通気性がよい肥沃な土壌を好みます。水分が停滞する様な粘土質な土壌では球根が腐敗する原因になるため、植付けの前に土壌が粘土質で硬かったりする場合は、通気性を高める炭入りコンパを施用する。
- ②土壌pHに生育が大きく影響するため、植付け前に土壌診断を行い、土壌pH6.0に矯正する。
- ③植付け方法は、畝幅100cm、株間30cm×条間20cm×深さ10cmの4条植えの6,000球/10aとする。

### ○施肥設計例(10a)

	商品名	施肥量 (kg/10a)	施用方法
土改材	炭入りコンパ	300	全層
元肥	しき島6号	120	
	マグホス	60	

※注意事項: 植付け前に土壌診断し、結果を元に設計を行う。

## 3. 出荷規格

2L(90cm以上)、L(90cm~80cm)の長さに調整し、各5本で結束して1ケース10束入り50本とする。

ホームページ <https://www.takichem.co.jp/> メールアドレス [aguri@takichem.co.jp](mailto:aguri@takichem.co.jp)

【公式 YouTube(肥料の寺子屋)】チャンネル登録をお願いします。

